

**福岡水素エネルギー人材育成センター**

**平成19年度 第2回 経営者コース 実施要領**

**平成19年7月**

**福岡水素エネルギー戦略会議**

## 1 . 技術者養成コースの概要

### 1.1 目的

水素エネルギーに関心を持つ企業経営者等を対象に水素関連技術に関する基本的な知識の習得を目指します。

### 1.2 対象

水素エネルギーに関心を持つ企業経営者等

### 1.3 特徴

水素の性質や燃料電池などに関する基本的な知識を短時間で習得。

中小企業の参入機会や対応のポイントを、燃料電池メーカーが逆プレゼン。

少人数制で、個別の疑問にも丁寧に対応。

戦略会議の支援により低受講料を実現。

## 2 . 平成 19 年度募集の概要

### 2.1 開催日程 , 募集人数及び受講料

講座名	開講日程	申込締切	定員	受講料	名刺交換会 (交流会)
平成 19 年度第 2 回 経営者コース	9 月 7 日 (金) 12:30 ~ 17:30	8 月 24 日 (金)	40 人	3 千円	2 千円

受講料金はテキスト代を含む消費税込みの金額です。

名刺交換会(交流会)への参加は任意です。(別途、交流会費が必要となります。)

### 2.2 講義の進め方

セミナー形式の講義を行います。

### 2.3 会 場

九州大学伊都キャンパス ウエスト 4 号館 3 階 3 1 2 号室  
(福岡市西区元岡 7 4 4 番地)

TEL 092-802-2722 (九州大学工学部事務室)

アクセス : <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>

〔公共交通機関〕

地下鉄「博多駅」 (地下鉄, JR 筑肥線)

「九大学研都市駅」 (昭和バス) 「九大工学部前」下車

地下鉄「博多駅」から「筑前前原」「唐津」「西唐津」行き電車をご利用ください。九大学研都市駅まで直通で運転されます。

〔自動車〕

駐車場はあります。守衛所で受付をお願いします。

### 2.4 アンケート調査

各講義毎に内容に関するアンケート調査を実施し、次年度以降の参考とさせていただきます。

### 3 . 講義時間等

#### 3.1 講義時間割 (カリキュラム)

講義名	内容	講師
12:30 ~ 12:40 (10) 開講式	・「経営者コース」の開講	戦略会議
12:40 ~ 13:20 (40) 校長講話	・持続可能なモビリティ社会の実現に向けて ～交通物流ルネッサンスプロジェクト～	人材育成センター 校長 渡邊浩之 氏 (トヨタ自動車(株) 技監)
13:30 ~ 14:30 (60) 講義 1 「水素(H <sub>2</sub> )とは」	・今なぜ水素なのか ・水素の基本的性質 ・水素の製造・貯蔵・輸送方法 ・水素の利用 (水素エンジン、タービンなど)	水素エネルギー協会 理事 岡野一清 氏
14:40 ~ 15:40 (60) 講義 2 「燃料電池とは」	・燃料電池(PEFC)の仕組み ・燃料電池の種類 ・燃料電池の利用 (定置用、自動車など)	九州大学大学院 教授 佐々木一成 氏
15:50 ~ 16:40 (50) 講義 3 「家庭用燃料電池の開 発状況と新規参入企 業への期待」	・燃料電池に必要とされる周辺機器 ・開発の現状と新規参入企業への期待	東芝燃料電池システム(株)
16:50 ~ 17:30 (40) 施設見学	・水素ステーション ・家庭用燃料電池システム, ・九州大学水素利用技術研究センター ・九州大学水素利用プロセス研究室	
17:45 ~ 18:45 (60) 名刺交換会(交流会) 〔希望者のみ〕	・講師との意見交換 ・受講者間の交流	

## 3.2 講義概要

### 校長講話

当人材育成センターの校長を務めるトヨタ自動車(株) 渡邊 浩之 技監が、水素エネルギー社会の重要性や産業としての可能性についてお話しします。

### 講義1：水素(H<sub>2</sub>)とは

21世紀のクリーンなエネルギー源として水素が注目されています。

本講義では、今なぜ水素なのか、水素の基本的な特性、安全性、さらに水素の特性や製造、運搬・貯蔵技術を分かりやすく解説するほか、水素エネルギーの実用化に取り組んでいる世界各国の最新動向や市場導入の課題について理解を深めます。

### 講義2：燃料電池とは

水素を家庭や自動車で利用する場合、その核心となる技術は燃料電池です。本講義では、燃料電池の基本的な特性や利用方法を分かりやすく解説し、燃料電池についての理解を深めます。

### 講義3：家庭用燃料電池の開発状況と新規参入企業への期待

固体高分子形燃料電池を利用した家庭用燃料電池は、実用化を間近に控えています。しかし、家庭用燃料電池を真に商品化するためには、耐久性の改善とコストダウンが必要とされています。

本講義では、実用化が近いとされる家庭用燃料電池に焦点を当てながら、最新の開発状況や技術課題を紹介するとともに、そこから生まれる将来の広範なビジネス、新規参入企業に求められる技術・資質等を分かりやすく解説します。

### 施設見学

九州大学伊都キャンパスは水素研究の拠点として最新の研究設備を有するとともに、水素キャンパスとして燃料電池の実証試験が行われています。講義内容の理解をより深めるため、九州大学内の水素関連施設を見学します。

## 4 . 受講申し込み

### 4.1 手続きの流れ

別紙の受講申込書を事務局に提出してください。  
(電子メール or F A X )

受講者には、受講料および交流会費(参加者のみ)の請求書を事務局から送付します。

納付期限日までに指定の口座に受講料および交流会費(参加者のみ)をお振り込みください。

受講当日、受付で氏名をご確認ください。

受講料は原則納付期限までにお振り込みください。

納付期限までに振り込みが困難な場合は、事務局まで後納理由と振り込み予定日を連絡してください。

### 4.2 申し込み先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局  
(福岡県商工部新産業・技術振興課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

TEL:092-643-3448 FAX:092-643-3436

E-mail [info@f-suiso.jp](mailto:info@f-suiso.jp)

### 4.3 その他注意事項

受付は申し込み順とし、定員になり次第、募集を締め切ります。

受講料納付後は、返金することができませんのでご了承ください。  
(受講者の変更は可能です。)

当コースの講座にお申し込みいただく場合は、次の誓約内容に同意頂いたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

[誓約内容]

当コースで開講される講座において次の行為を行わないこと。

また、故意にこれに違反する行為を行った場合に生じた損害の賠償責任を負うこと。

機器の損壊

コース運営に支障をきたす行為 等

福岡水素エネルギー戦略会議事務局宛  
 E-Mail info@f-suiso.jp  
 Fax 092-643-3436  
 (送付状は不要です。このままお送りください)

福岡水素エネルギー人材育成センター  
 平成 19 年度第 2 回「経営者コース」  
 受講申込書

平成 年 月 日

網掛けの欄は必ず記入してください。

受講者	フリガナ			
	氏名			
	所属	会社・部署		
		住所	(〒 - )	
	TEL		e-mail	
送付先	a. に同じ b. それ以外 「b」の場合のみ下欄にも記入してください。			
	住所	(〒 - )		
	会社・部署		氏名	
	請求書宛名	a,bに関わらず必ず記載ください。		
履歴	・この欄は講師が講義準備をする際に参考にします。			
	[出身学部・学科]			
	[水素技術関連職歴] 業務内容・経験年数等を記入してください。			
交流会	名刺交換会(交流会)への出欠 別途2000円の交流会費が必要となります。			

別紙(記入例)

福岡水素エネルギー戦略会議事務局宛  
 E-Mail info@f-suiso.jp  
 Fax 092-643-3436  
 (送付状は不要です。このままお送りください)

福岡水素エネルギー人材育成センター  
 平成 19 年度第 2 回「経営者コース」  
 受講申込書

平成 年 月 日

網掛けの欄は必ず記入してください。

受講者	フリガナ	フクオカ タロウ			
	氏名	福岡太郎			
	所属	会社・部署	福岡水素エネルギー(株)代表取締役社長		
		住所	(〒812 - 8577 ) 福岡県福岡市博多区東公園 7 - 7		
TEL		092-643-3448	e-mail	info@f-suiso.jp	
送付先	a. に同じ	b. それ以外 「b」の場合のみ下欄にも記入してください。			
	住所	(〒 - )			
	会社・部署		氏名		
	請求書宛名	a,bに関わらず必ず記載してください。 福岡水素エネルギー(株)総務部			
履歴	・この欄は講師が講義準備をする際に参考にします。				
	[出身学部・学科] 工学部 金属工学科				
	[水素技術関連職歴] 業務内容・経験年数等を記入してください。 特になし				
交流会	名刺交換会(交流会)への出欠 別途2000円の交流会費が必要となります。  出席				